

日本株マーケット・ニュートラル

目論見書の訂正部分

「日本株マーケット・ニュートラル」の受益証券の募集については、委託会社は、証券取引法（昭和 23 年法第 25 号）第 5 条の規定により、有価証券届出書を平成 16 年 7 月 16 日に関東財務局長に提出しており、平成 16 年 8 月 1 日にその届出の効力が生じております。また、同法第 7 条に基づき有価証券届出書の訂正届出書を平成 16 年 8 月 2 日及び平成 16 年 11 月 15 日に関東財務局長に提出しております。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通して、実質的にわが国の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。これにより当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

当ファンドは、投資家の皆様の投資元本および収益が保証されているものではありません。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家の皆様に帰属します。

当ファンドは、預金保険機構あるいは保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

ロンドンまたはダブリン（アイルランド）の銀行休業日にあたる場合は、ご購入の申込みおよびご換金の申込みの受付を行ないませんのでご留意下さい。

平成 16 年 11 月 15 日に有価証券届出書の訂正届出書を提出したことに伴い、目論見書の記載内容のうち、一部について新しい内容に改めます。

【訂正箇所及び訂正後の内容】

第二部 ファンド情報

第 1 ファンドの状況

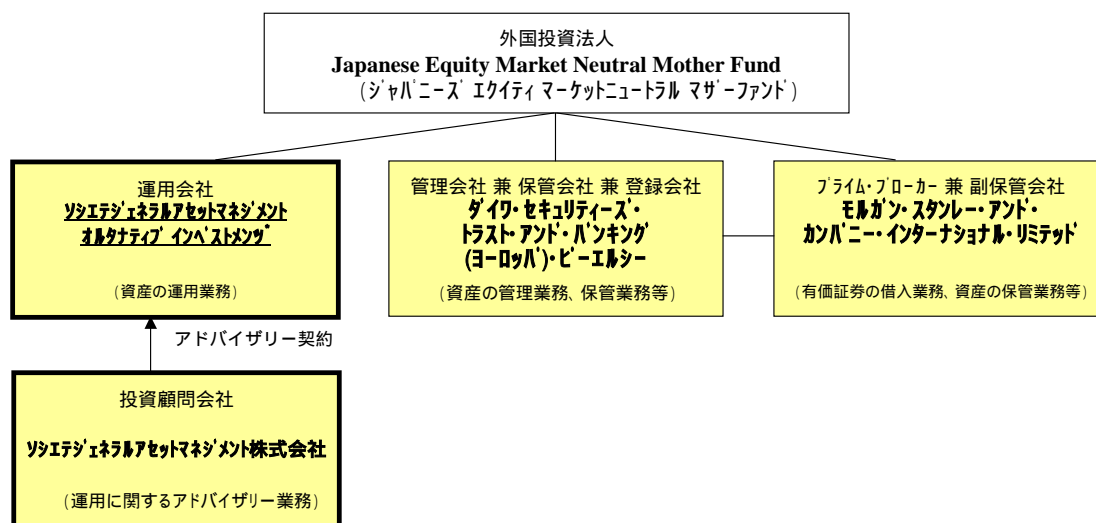
1 ファンドの性格

(3)ファンドの仕組み（下線部は訂正部分を表します。）……………（目論見書 P5～6）

委託会社及びファンドの関係法人

参考：外国投資法人の主な関係法人

(前略)



* ソシエテジェネラルアセットマネジメント オルタナティブ インベストメンツ (SGAM AI) は、1998 年よりオルタナティブ商品を提供し、2003 年 6 月よりソシエテジェネラルアセットマネジメントの 100% 子会社となっております。

2 投資方針

(1) 投資方針

「ジャパニーズ エクイティ マーケットニュートラル マザーファンド」の運用プロセス
(下線部は訂正部分を表します。) (目論見書 P8～12)

(前略)

2 種類の銘柄選定アプローチ

外国ファンドの運用を行なうソシエテジェネラルアセットマネジメント オルタナティブ インベストメンツは、ソシエテジェネラルアセットマネジメントとアドバイザー契約を締結しています。ソシエテジェネラルアセットマネジメント オルタナティブ インベストメンツが運用するポートフォリオは、2つの手法を組み合わせで構築されます。

手法 1: ソシエテジェネラルアセットマネジメントとのアドバイザー契約に基づき、マルチ・ファクター・モデル*を用いて期待収益率を予測する計量的アプローチ。種々のリスクを抑制し、主に個別銘柄独自の要因により収益獲得を狙います。

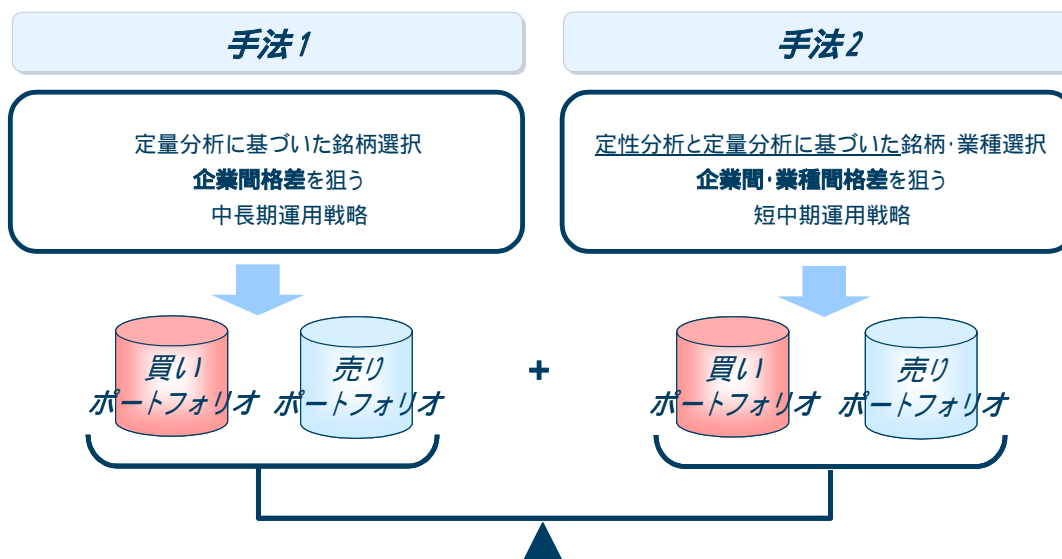
手法 2: ソシエテジェネラルアセットマネジメントとのアドバイザー契約に基づき、個別銘柄の定性分析と定量分析を融合したアプローチ。個別銘柄独自の要因からの収益獲得を狙うほか、業種配分においても一定の範囲でリスクを取ることにより収益の源泉とします。

(中略)

* マルチ・ファクター・モデルとは、複数の共通要因 (時価総額、増益率等) を用いて、個別銘柄のリターンを分解、説明するものです。

運用プロセス

➤ **2種類の手法**を用いてバランスのとれたポートフォリオを構築します。



* 手法1、手法2とも、ソシエテジェネラルアセットマネジメントが投資助言を行ないます。

(後略)

(参考) ファンドが投資対象とする投資信託証券の概要

1. Japanese Equity Market Neutral Mother Fund (ジャパニーズ エクイティ マーケットニュートラル マザーファンド) (下線部は訂正部分を表します。)…………… (目論見書 P15～16)

ホ. 関係法人

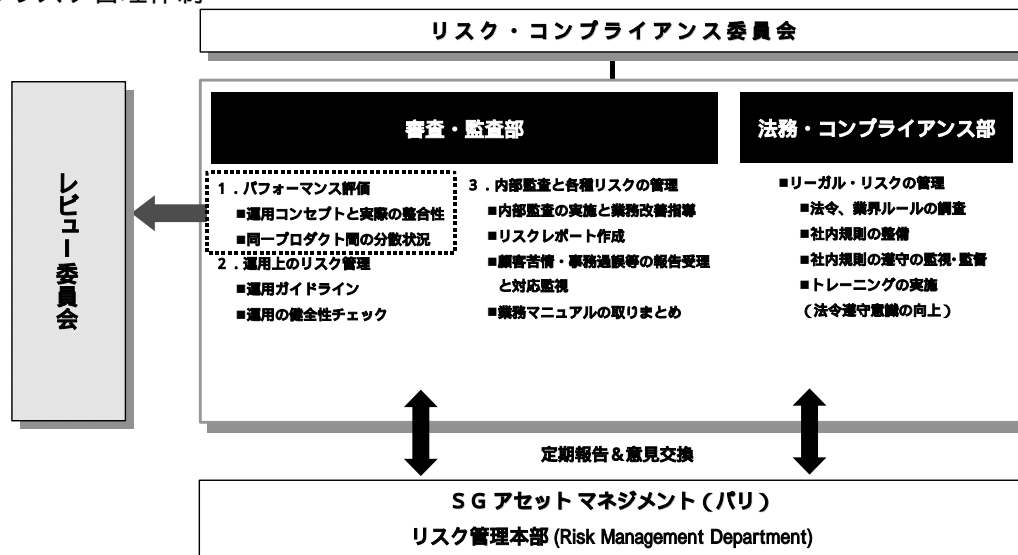
関係法人	名称
運用会社 (Investment Manager)	<u>ソシエテジェネラルアセットマネジメント オルタナティブ インベストメンツ</u>
投資顧問会社 (Investment Advisers)	ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社
管理会社、保管会社および登録会社 (Administrator, Custodian and Registrar)	ダイワ・セキュリティーズ・トラスト・アンド・バンキング (ヨーロッパ)・ピーエルシー
プライム・ブローカーおよび副保管会社 (Prime Broker and Sub-Custodian)	モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・リミテッド

3 投資リスク

(2)リスク管理体制（以下の内容に訂正します。）……………（目論見書 P20）

ファンドのリスク管理として、運用の基本方針に沿った資産構成になっているか、あるいは適切な投資行動となっているかを検証しています。また、レビュー委員会において、ファンド特性を踏まえたパフォーマンス評価・検討を行なっています。

委託会社のリスク管理体制



* 委託会社のリスク管理体制は、平成 16 年 9 月現在のものであり、今後変更となる場合があります。